

| | |
|------------------|----------------------------------|
| <h1>History</h1> | |
| 1956年 1957年 | 国際連合加盟 給食開始 |
| 1963年 昭和38年 | 1964年 東京オリンピック開催 |
| 1970年 | 開成幼稚園開園 新十文字橋開通 |
| 1973年 昭和48年 | 1973年 開校100周年 新校舎完成(現校舎) |
| 1983年 昭和58年 | 1985年 開成駅開業 |
| 1993年 平成5年 | |
| 2003年 平成15年 | |
| 2010年 | コミュニティ・スクールに指定 開成南小学校開校 |
| 2011年 | 大規模改修(図書室増築・C棟解体等) |
| 2012年 | 大規模改修(A棟エアコン設置・教室改修等) |
| 2013年 | 大規模改修(B棟エアコン設置・外壁改修等) |
| 2013年 平成25年 | 2014年 足柄紫水大橋開通 2015年 町制施行60周年 |
| 2023年 | 2023年 開校150周年 |

3

4

0



小金 玲奈さん(上延沢)
現在18歳

平 成22年4月、町に2つ目の小学校、「開成南小学校」が開校しました。新しい小学校ができるという大きな出来事について、当時小学5・6年生だった方々にお話を伺いました。

「児童数が半分になり、体育館がとても広く感じたことを

覚えています。友人と離れてしまい、寂しかったですが、近所の友人とは一緒だったので良かったです。」(当時開成小5年生・小金さん)

「友人と離れ、寂しく感じました。新しい校舎は羨ましかったです。開成小も図書室が広くなったので嬉しかったです。また、僕の親も開成小出身なので、親子で小学校の思い出話や歴史を共有できて嬉



笠間 冬惟さん(円中)
現在18歳

しく思います。」(当時開成小6年生・笠間さん)

「僕たちの学年が南小1期生であることがとても自慢です。当時は、新しい学校に通えることが嬉しかったです。今回、開成小が明治6年(1873年)からあるということを知り、歴史の深さに驚きました。」(当時開成南小6年生・板倉さん)



板倉 航大さん(下島)
現在18歳

町の発展とともに2つになっ



平成21年度に記念に作成された下敷きと文集

武藤 一美

た小学校ですが、子どもたちは、同じ開成町の子どもとして地域に見守られながら、笑顔で元気に登校しています。それぞれの学校で新たな歴史を創り、新しい世代へ歴史を繋いでいるのですね。

Episode 4



▲全日本草刈り選手権大会のポスターとその裏のメモ書き

昭 和19年、戦況が悪化していく中、校庭の一部も開墾し、食糧増産として教師や児童たちが勤労動員に駆り出されました。また、横浜市の小学生500名の疎開を受け入れました。

昭和20年には開成小学校の教師数名が皆に見送られて出征し、5月から終戦までは、学校内に軍隊も駐在しました。校長室には当時の食糧増産を喚起するポスターや、松田小学校から提供された出征兵士のごとく仕立てられ国に拠出(※)される二宮尊徳像の写真がありました。

草刈り選手権のポスターの裏には、先生たちの学校行事での分担がメモされていました。戦時下にあっても、子どもたちの学校生活を守ろうと

する先生たちの想いを感じました。

開成小学校の長い歴史の中に「国民学校」として戦争色の強い5年間が確かにあったことを忘れてはいけなさと強く感じました。繰り返しはならない歴史です。平和な日々の中で子どもたちが学ぶことの大切さを痛感しました。

小田 猛

(※)銃や砲弾に使う戦略物資の不足を補うため、国が金属類を回収した。



▲開成小学校の二宮尊徳像(真ん中) 見送る児童たち

Episode 2

Episode 3

夢 に何度も出てくる風景。きっと昔見た風景だと思っけれど、どこだったか思い出せないことってありませんか？

この取材で開成小学校に何って昔の資料を見ていた時、まさしく夢に出てきた風景の写真を見つけました。開成小学校が木造校舎だった時の教室棟と講堂を結ぶ渡り廊下です。

なぜ何度も夢に出てきたのか分かりますが、その頃に小学校で何があったかを調べてみると、まさにその木造校舎から現在の鉄筋コンクリートの校舎に建て替えられる時でした。

小学生の私にとって自分の通っている小学校が新しく建替えられることは、何にも増して一大イベントでした。朝早くから多くの職人さんが来て、みるみるうちに町内で今まで見たこともないようなビル(子ども目からはそう見えました)のような校舎が建ち上がる様子を見て、卒業間近で新しい校舎には入れないとわかっていても、心躍る思いでした。

私が小学生だった昭和40年代は、古いものがどんどん新しいもの

いもの変わっていくのを目の当たりにした時代でした。私にとっての開成小学校は、あの木造校舎の渡り廊下。きっと、開校からの全ての卒業生の中に、忘れ得ぬ母校の情景が宿っていることでしょう。

石塚 敦



最後の木造校舎(昭和47年頃)



昭和3年の校旗がありました!(右)

取材後記

新春特別特集は4ページに渡る特大号となりました。すべては山崎校長が貴重な資料を編纂し、公開したことで、特派員の目にもとまることとなりました。ありがとうございます！このページでは語れなかった膨大な資料が、まだまだあります。来る開校150年に向け、地域の皆さんと歴史を共有し、次の世代へ受け継いでいくために何ができるか考えていきたいと思ひます。

まちづくり情報特派員 小田 猛

